



はじめに

弊社が目指す姿は、

事業活動を通じ自らの持続的成長と社会全体の持続的発展に貢献することです。

弊社は、固形燃料化ラインによるサーマルリサイクル化(RPF)を生業としています。

特に固形燃料化ラインは、焼却処理によるCO₂排出量の低減と最終処分となる廃棄物の減量による埋立て処分場の延命、枯渇性資源の節減など、地球環境には計り知れないほどの効果を齎しています。

我々は自らの持続的成長と社会全体の持続的発展に貢献するため、事業課題と正面から向き合い、経営改革を着実に実行し、より強固な収益基盤を構築していきます。

そして、社会で必須の存在になれるよう邁進していく所存です。

INDEX >

- 弊社について

 - 会社概要

- 提供サービス

 - ① 産業廃棄物の再生固形燃料化(RPF)

 - ② ケミカルリサイクル

- あおぞらを選ぶメリット

- 実績

- お問い合わせ

会社概要

社名：株式会社あおぞら

代表者：代表取締役社長 藤井 邦彦

住所：茨城県つくば市片田 492番地(みどりの工業団地内)

資本金：27百万円

売上高：1,962百万円(2023年度決算)

事業内容：産業廃棄物中間処理業、RPF(再生固形燃料)の製造

許可：茨城県産業廃棄物処分業許可(優良認定)、他

設立：2005年9月22日

従業員数：約50名(協力業者の日新興業株式会社を含む)

面積：敷地面積: 16,000㎡ 建築面積: 2,500㎡

処理能力：破碎...740.56t/日(212.64t x 2台 + 315.28t)

溶融(RPF製造)...120t/日

圧縮...778.08t/日(最大処理能力である「がれき類」を記載)

① 産業廃棄物の再生固形燃料化 (RPF)

RPFとはRefuse Paper & Plastic Fuelの略で、再生固形燃料化を指します。

再生が困難な廃プラスチックと紙・木材などで作られた固形燃料を原料とし、これらを押し固めることでRPFが生成されます。

RPFの特徴として、石炭に並ぶ高い発熱量がありながらCO₂排出量は石炭の1/3程度のため地球環境保護に貢献する燃料として注目を集めています。さらに、取り扱い・運搬・貯蔵性に優れ、安定した性状や品質が得られるほか、発熱量の調整が容易にできることもRPF普及の理由です。RPFは、CO₂削減を目指す製紙会社・製鉄会社などで幅広く利用されています。

当社は、RPF再生固形燃料を製造するために受け入れた一般・産業廃棄物などの原料選別・配合において、熟練したノウハウを駆使し、より安全で安心な処理で高品質な燃料を提供しております。



RPF
Refuse Paper & Plastic Fuel

① 産業廃棄物の再生固形燃料化 (RPF)

RPFのCO₂削減効果

焼却処理からRPFへシフトした際の
産業廃棄物処分時CO₂排出量



CO₂排出量
約**36%**削減

原料を石炭からRPFへシフトした際の
熱量回収時CO₂排出量



CO₂排出量
約**33%**削減

① 産業廃棄物の再生固形燃料化 (RPF)

処分可能廃棄物 (一部抜粋)

弊社にてRPFで処分可能な廃棄物は下記4つです



1) 廃プラスチック類

包装資材 / プラスチック容器など



2) 木くず

木製パレット / バークなど



3) 紙くず

印刷くず / 段ボールなど



4) 繊維くず

畳など

※ 金属くずやがれき類、廃石膏ボード、ガラス・コンクリート・陶磁器くずは対象外

② ケミカルリサイクル

廃棄されたプラスチックを分解し、**資源化** することをケミカルリサイクルと言います。

ケミカルリサイクルは焼却処理や埋立処理と比べ **環境負荷を大幅に下げられ**、さらに弊社の技術を用いることで、**新品同様の品質で生まれ変わる** ことが可能です。今後、国内だけでなくグローバルにおいてニーズ拡大が予想されます。

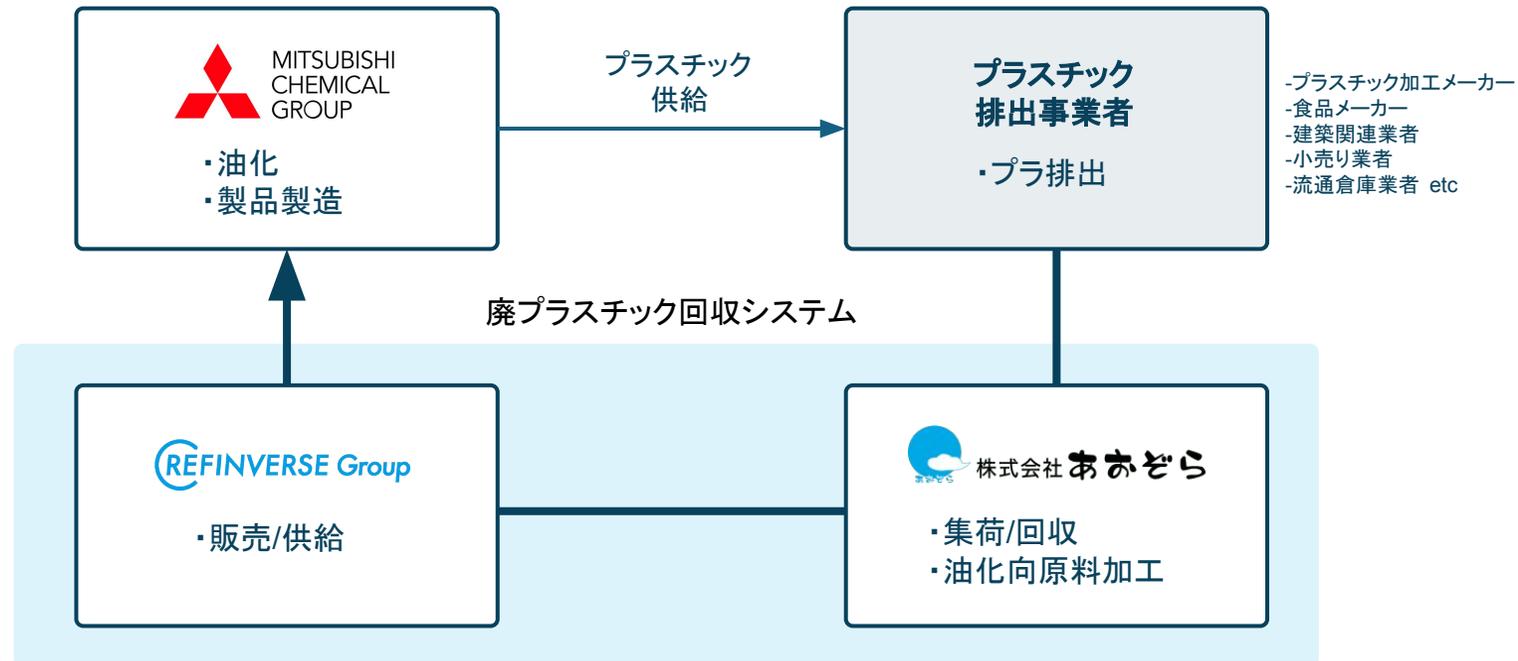
プラスチックバリューチェーンとケミカルリサイクル



② ケミカルリサイクル

弊社では、排出事業者から出る廃プラスチックを回収・加工し、リファインバース社と協働で三菱ケミカル社にケミカルリサイクル原料として供給 しています。

弊社の超臨界水を用いた分解技術により、高い品質の状態で三菱ケミカル社へプラスチックを届け、三菱ケミカル社茨城事業所では年間処理能力 20,000tを目標とした油化プラントが稼働しています。



脱炭素への取り組みが進む

弊社のRPF製造ラインおよび圧縮設備はグリーンエネルギーで稼働しているため、CO₂排出を極限まで下げられます。弊社は、化石燃料を使わないエネルギーの環境価値を証書化し、発電所情報を紐づけた「トラッキング付非化石証書」も取得済みです。



証明書番号 : 0000000015212

トラッキング付非化石証書 権利確定済残高証明書 (仲介分)
Non-fossil fuel certificate(NFC) with tracking (Broking)

残高証明書の宛名 Destination	株式会社あおぞら
JEPX会員名 JEPX member name	ENECHANGE株式会社
権利確定日 Issue date	2023/06/14
証書有効期限 Effective limit date	2023/06/30
権利確定済残高 Total amount	4,965 kWh



Pass Code:28293103
<https://www.biprogy-nonf-tr.com/rfa/#/public-report/GXjMh7ccIZ49nBBv27Z9ByeX4TqTuzWw99jmm6kVDhs=>

#	認定設備ID Generator ID	証書種別 NFC type	発電設備区分 Fuel type	設備の所在地 Location	発電設備名 Generator name	設置者名 Name of owner	発電出力(kW) Installed capacity	認定日 Certification date	運転開始日 Operation start date	トラッキング 割当日 Tracking allocate date	割当量 (kWh) Volume
1	R595809802	FIT	バイオマス biomass	青森県青森市大字緑ヶ坂字早稲田241-1	青森市清掃工場汽力発電所	青森エコクリエイション株式会社	7,650.0	2013/03/29	2015/01/01	2023/04/01	4,965

トラッキング付非化石証書
 (発行者...一般社団法人日本卸電力取引所)

証書番号:0000000015212
 JEPX会員名:ENECHANGE株式会社
 発電設備区分:バイオマス

産業廃棄物処分業許可証

環境省が定めた「優良産廃処理業者認定制度」において、茨城県の審査により、弊社が基準を満たしているとして「優良」と認められました。

様式第九号の二（第十条の六関係） 7861
 許可番号 00821138136

産業廃棄物処分業許可証

住所 茨城県つくば市片田 4 9 2 番地
 氏名 株式会社 あおぞら
 代表取締役 藤井 邦彦
 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)

第1-4条第6項
 産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律
 第14条の2第1項 の許可を受けた者であることを証する。

茨城県知事 大井川 和 様
 許可の年月日 令和 6 年 8 月 28 日
 許可の有効年月日 令和 1 0 年 1 0 月 3 1 日

1. 事業の範囲 (8分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類を記載すること。)

中間処分
 破碎: 廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(*5)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*3) (*5)、がれき類(*3) 以上8種類
 切断: 廃プラスチック類(*3) (*5)、金属くず(*5)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*3) (*5) 以上3種類
 圧縮: 廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(*5)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*3) (*5)、がれき類(*3) 以上8種類
 溶解: 廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、廃油(*5) 以上5種類

(※) 記載品目については、(*3) 石綿含有産業廃棄物を除く、(*5) 水銀使用製品産業廃棄物を除く

2. 事業の用に供するすべての施設 (施設ごとに種類、施設場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号 (産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合に限る。) を記載すること。)

別記1のとおり。

3. 許可の条件
 特になし。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可 (届出) 年月日	変更内容	許可 (届出) 年月日	変更内容
平成 19 年 10 月 19 日	新規許可	平成 30 年 3 月 6 日	更新許可
平成 23 年 7 月 7 日	変更届 (代表者の変更)	令和 3 年 11 月 1 日	更新許可 (優良認定)
平成 24 年 10 月 22 日	更新許可	令和 6 年 8 月 28 日	変更許可 (高目の追加)
平成 25 年 4 月 4 日	変更届 (代表者の変更)		以下 空白
平成 28 年 1 月 26 日	変更許可 (品目の追加)		

5. 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無 有・無

別記 1 事業の用に供する施設の所在地、処理施設及び保管施設の概要
 茨城県つくば市片田字浦割東 492 番 7

施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	設置年月日 許可年月日 許可番号
破碎施設	212.64 t/日 (24時間)	廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(*5) 以上5種類	平成 29 年 11 月 13 日 平成 28 年 7 月 8 日 1-1-0239
	212.64 t/日 (24時間)		平成 29 年 11 月 13 日 平成 28 年 7 月 8 日 1-1-0240
切断施設	257.96 t/日 (24時間) 木くず	廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(*5)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*3) (*5)、がれき類(*3) 以上8種類	令和 6 年 3 月 26 日 令和 5 年 12 月 15 日 1-1-0306
	315.28 t/日 (24時間) がれき類		
圧縮施設	0.29 t/日 (24時間)	廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(*5) 以上5種類	平成 19 年 8 月 27 日 平成 19 年 2 月 28 日 1-1-0294
	45.6 t/日 (24時間)		平成 19 年 8 月 27 日 平成 19 年 2 月 28 日 1-1-0295
	5.76 t/日 (24時間)		平成 19 年 8 月 27 日 平成 19 年 2 月 28 日 1-1-0296
溶解施設	12.24 t/日 (24時間)	廃プラスチック類(*3) (*5) 以上1種類	平成 19 年 8 月 27 日 平成 19 年 2 月 28 日 1-1-0297
	廃プラスチック類 157.68 t/日 (24時間) 紙くず 111.84 t/日 (24時間) 木くず 157.68 t/日 (24時間) 繊維くず 108.72 t/日 (24時間) ゴムくず 273.36 t/日 (24時間) 金属くず 594.00 t/日 (24時間) ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 336.48 t/日 (24時間) がれき類 778.08 t/日 (24時間)		廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(*5)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*3) (*5)、がれき類(*3) 以上8種類

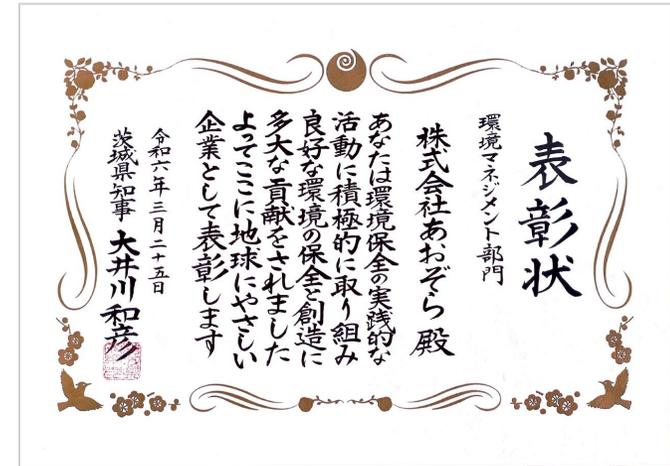
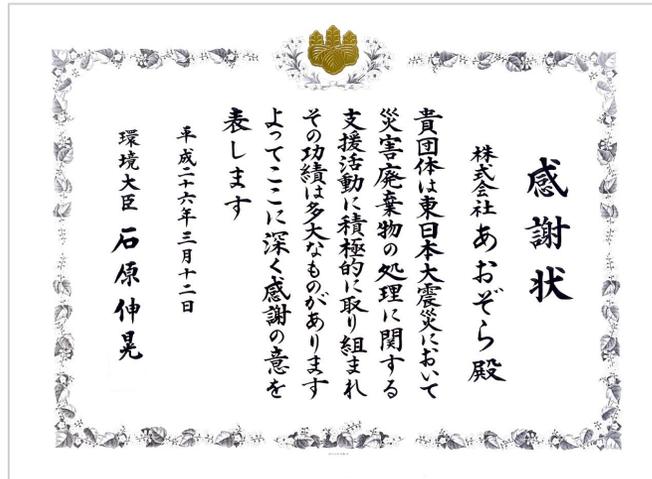
溶解施設

120 t/日 (24時間)	廃プラスチック類(*3) (*5)、紙くず、木くず、繊維くず、廃油(*5) 以上5種類	平成 29 年 11 月 13 日 平成 27 年 10 月 5 日 1-1-0417
-------------------	---	---

(※) 記載品目については、(*3) 石綿含有産業廃棄物を除く、(*5) 水銀使用製品産業廃棄物を除く

感謝状・表彰状

弊社の取り組みを評価いただき感謝状・表彰状をいただいております。



廃棄物の中間処理や再生固形燃料について

お気軽にご相談ください

ご相談はこちら

